

メールで配信することで、お客さまへの情報提供体制の強化を図るためのものです。



運行状況確認用携帯電話

バリアフリー化の取り組み

▶ 車両のバリアフリー

当社では、車内に車いすスペースを順次設置しており、平成27年3月31日現在416両となっています。

また、非常時に乗務員と直接通話ができる非常通報器を408両に、出入口上部に列車種別や行先、停車駅、次駅で開くドアの方向案内などを表示する車内案内表示器を376両に設置しています。

平成26年3月より新たに導入した13000系新造車両、およびリニューアル工事を実施した6000系車両合計34両には、目の不自由なお客さまのために、乗降口扉の開閉を音でご案内するドアチャイムを新たに設置しています。

身体の不自由な方などのために設置している優先座席は、そのゾーンを明確にするため、座席の枕カバーまたは座席背もたれについて、オレンジ色をベースにピクトグラム*を施しています。また、窓ガラスには優先座席を示すステッカーを、カーテンには「優先座席」の表記とピクトグラムの印刷をそれぞれ施しています。

*ピクトグラムは、杖をついた人、障がいのある人、けが人、妊産婦、乳幼児連れ、内部障がい者を絵文字で表現したものです。



車いすスペース



非常通報器



車内案内表示器



優先座席

▶ 駅のバリアフリー

国および地方自治体と協力し、エレベーターをはじめとしたバリアフリー化設備を順次整備しています。

平成26年度は、村野駅にエレベーターやスロープ・多機能トイレを整備し、現在は深草駅でバリアフリー化の整備を進めています。

平成27年4月1日現在、一日の平均的な乗降人員

3,000人以上の64駅のうち、60駅のバリアフリー化（段差解消）が完了しています。



村野駅エレベーター



村野駅スロープ

お客さまとのコミュニケーション

▶ おけいはんキャンペーン

当社と京阪沿線により親しみを持っていただくために、平成12年からおけいはんキャンペーンを実施しています。

平成24年11月からは、5代目おけいはんとして、初の一般公募で選ばれた畦田（うねだ）ひとみさんを起用。「チャレンジ!」をテーマに、沿線を楽しむ“ほんまのおけいはん”を目指して彼女がさまざまなことにチャレンジし、沿線の魅力をご案内しています。

これまで展開してきたテレビCMやポスター、おでかけ情報サイト「おけいはん.ねっと」(<http://www.okeihan.net/>)に加え、動画コンテンツやフォト日記で構成する「チャレンジ!おけいはん」(<http://www.challenge-okeihan.net/>)を展開しているほか、おけいはん自身が発信するFacebook(<http://www.facebook.com/challenge.okeihan>)、おけいはんと一緒に体験する一般参加イベントなど、さまざまな切り口で発信しています。



おけいはん

▶ 安全・安心の取り組みの紹介

鉄道事業の現場には、お客さまに安心して鉄道をご利用いただくため、日々継続している取り組みがあります。お客さまが日頃あまり目にする事のないこれらの取り組みを知っていただくため、平成26年度より、ポスター「京阪の『安全・安心』 - RAILWORKS -」を駅や車内に掲出し、架線（電車線）の張り替え作業や電車の運行を司る運転指令所の様子など紹介しています。また、京阪電車Webサイト「こころまち つくろう 活動レポート」でも詳しく紹介しています。



ポスター「京阪の『安全・安心』 - RAILWORKS -」